



5月1日から衣替え移行期間に入ります。

担任の先生からも連絡があったと思いますが、5月1日（火）から衣替えの移行期間に入ります。本年度は昨年度と少し違い、男子は、学生服でも長袖ポロシャツでも半袖ポロシャツでも可能、女子はセーラー服でも長袖ポロシャツでも半袖ポロシャツでも可能とします。詳しくは下記を参考にしてください。

期 間 平成30年5月1日（火）～6月1日（金）

服 装 【男子】・学生服、もしくは学校指定の半袖・長袖ポロシャツ
・学生スボン
【女子】・セーラー服、もしくは学校指定の半袖・長袖ポロシャツ
・スカート

名札のつけ方（ポロシャツ）

ポロシャツの名札は、アイネームをアイロンで接着します。接着方法については、同封されている説明書をご確認ください。

（※写真は長袖ですが、半袖も同様です。）



靴のかかとを踏んでいませんか？

毎朝、生徒玄関でみなさんの様子を見ていて気になることがあります。それは、靴のかかとを踏んでいる人が大変多いことです。下駄箱に並べられた靴の中には、硬いはずのかかとがつぶれて形がくずれているものもたくさんあります。すごく残念なことです。



靴のかかとを踏むという行為は、世間一般的に見てもよくない行為です。「かかとは靴の命」とも言われているくらい、かかとは靴で一番大切な部分です。安全面を損なうだけでなく、その人の印象まで悪くなってしまう。それでは、なぜかかとを踏んではいけないのか確認しましょう。

①物を大切にしない人だと思われる。お金もかかる。

かかとがつぶれている人は、物を大切にしない人だと思われてしまいます。それだけでなく、かかとがつぶれると早く靴を買い替えなければいけません。それだけお金もかかってしまいます。

②印象が悪くなる。信用が得られにくい。

人は中身も大切ですが、やはり見た目から与える印象も大きいです。毎日綺麗な服を着た人と、毎日シワシワの服を着た人ではどちらが印象がいいですか？それと同じです。綺麗な靴を履いている人と、かかとがつぶれた靴を履いている人、どちらの人が印象が良いか一目瞭然ですね。細かい所まで気をつかえる人は誰からも信用されます。

③危険である。

かかとがつぶれているということは、靴をスリッパのように履いて歩いているということです。その状態では、つまずいたり、こけたりというリスクが上がります。また、そういった靴を履いても、かかとがつぶれているので脱げやすくなります。「そんなことはない」と感じている人はそれに慣れてしまって非常に危険な状態です。

上記のように、靴のかかとを踏むとたくさんのデメリットがあります。かかとがつぶれた靴を履いている人は、保護者の方にお問い合わせして一刻も早く新しい靴に買い替えましょう。そして新しい靴は大事に履くようにしましょう。